

一般質問と答弁

～各議員のコードから動画が視聴できます～

9月3日



区民キャンパス北西空地に防災ひろば！ 部活動地域展開！



めぐろの未来をつくる会
(無所属・国民・維新) 吉野 正人 議員

めぐろ区民キャンパス北西空地

問 防災ひろば整備の取り組みについて伺う。

区長 現時点で具体的な方針を示せる段階にはないが総合的に検討していく。
選定療養費(*1)補助制度の整備

問 学校等での事故に伴う受診で生じた選定療養費の補助制度整備への見解を伺う。

区長 国の制度趣旨との整合性や公平性の検討が必要であり、現時点での導入は困難である。

区立中学校部活動の地域展開

問 実質約2年半しかない中学生の部活動充実への取り組みについて伺う。

教育長 「目黒区立学校における部活動改革の基本的な考え方」策定の検討を進め、持続可能な部活動環境の実現に向けて地域展開に取り組んでいく。

区立小・中学校PTA連合会への支援

問 活動拠点の確保について伺う。

教育長 今後も支援を行っていく。

区費による独自採用教員

問 優秀な若手教員確保策の考えを伺う。

教育長 現時点で新たに区費負担による正規職員の職を設置する考えはない。



誰もが安心して暮らし、 力を生かせる目黒区へ！



公明党目黒区議団 はま よう子 議員

目黒区版終身サポートの早期実現を！

問 東京都の補助制度を活用し、見守り、入院・入所、緊急連絡先、死後事務まで支援する制度を早期に構築し、分かりやすい窓口を設置することについて伺う。

区長 社会福祉協議会等とも協議しながら、都の補助制度の活用や事業の具体的な内容を検討し、単身高齢者や身寄りのないかたが安心して地域で暮らし続けられるまちづくりに努めていく。

行政DXを障がい者の新たな仕事に！

問 明らかになった課題を改善の出発点とし、区がコーディネーターとなって官民学・専門家が連携し、行政DXと障がい者を結び実証事業の実施を目指すについて伺う。

区長 現状では作業に要するスキャナー等の機器や保管場所を備えた就労継続支援B型事業所はなく、セキュリティ確保の課題もあるため導入は困難である。今後、事業者等にも意見を伺いながら調査研究していく。



移動支援報酬改定、障害者の 法定雇用率の改善へ向けて！



フォーラム目黒
(立憲民主・無所属の会) 金井 ひろし 議員

必要なサービスを届けるために

問 移動支援(*2)における「身体介護なし」の報酬が「身体介護あり」の報酬の約半分。そのため、引き受ける事業所が見つからないことが課題であり当事者も困っている。解決方法を伺う。

区長 現行の「身体介護あり」の報酬単価は妥当と考えている。一方で、「身体介護なし」のヘルパーが見つかりにくい状況は区も把握している。人材不足は喫緊の課題であり、研修費用補助等で人材確保に努め、来年度予定の報酬改定も見据えて制度の充実を図る。

障害者法定雇用率(*3)の引き上げ

問 これまで遵守できなかったが新事業で障害者雇用の可能性が広がった。雇用率を引き上げることはもとより、特性に応じて働き、活躍の場を広げることにについて伺う。

区長 雇用機会拡大と職場定着支援を強化し、業務の切り出しや新たな職域創出、柔軟な働き方の推進等により、法定雇用率の達成と誰もが活躍できるインクルーシブな組織づくりを進める。



介護や要配慮者対策を進め 住環境を重視したまちづくりを



日本共産党目黒区議団 岩崎 ふみひろ 議員

介護の負担軽減

問 介護保険料の引き下げを行うべきだが、見解を伺う。

区長 介護保険制度の持続可能性と区民の保険料負担を踏まえ、適切な介護保険料の設定を行う。

問 ケアマネジャーの待遇と仕事を改善すべきだが、見解を伺う。

区長 国の動向等を踏まえ、ケアマネジャーの法定外業務の負担軽減と本来業務に専念できる施策を検討していく。

災害時要配慮者支援

問 要配慮者対策の要となる地域包括支援センターを拡充すべきだが、見解を伺う。

区長 新たな増設等は行わないが、引き続き身近な保健福祉の相談支援機能

の充実に取り組む。

樹木の保全と倒木対策

問 樹木の樹形管理や育成を進め、構造的に強い樹木を保全していくための方策を伺う。

区長 都市部の樹木育成に効果的な環境整備や維持管理、工法等を他自治体の事例も踏まえ調査研究していく。

原町一丁目9番地区防災街区整備事業

問 防災施設建築物の高さは37.5mの計画だが、周辺住民への影響をどう考えているのか。

区長 地域の防災性向上という公益性と周辺環境への配慮の両立を図りながら、地域に寄り添った対応を行い、愛着を持てるまちづくりに取り組んでいく。

議員写真展を開催します

今年のテーマは、「めぐろの宝」。第4回定例会の開催期間に合わせ作品を展示します。お気軽にお立ち寄りください。

開催期間 令和8年11月20日（金）～12月4日（金）
10:00～16:00
(初日は12:00から、最終日は15:00まで。
土・日・祝日を除く)

会場 目黒区総合庁舎本館5階 区議会第1会議室

主催 目黒区議会議員芸術文化会



▲昨年の様子

用語解説

*1 選定療養費

初期の治療は地域のかかりつけ医等で、高度・専門医療は基幹病院で行うという、医療機関の機能分化や適正受診を促進するという考えの下、設けられた国の制度。基幹病院に救急搬送された場合でも、医療機関が緊急性を認めないと判断した際には医療費とは別に負担が生じることがある。

*2 移動支援

単独で屋外での移動が困難な障害のあるかたが外出する場合に、ガイドヘルパーが支援する事業。障害者総合支援法に基づくサービスのうち、地域の実態に応じて自治体の判断により実施する「地域生活支援事業」に位置付けられ、事業内容は自治体により異なる。

*3 障害者法定雇用率

「障害者雇用促進法」に基づき定められており、企業や国・自治体が、従業員に占める障害者の割合を一定以上確保することを義務付けた制度。令和8年7月から国・地方公共団体は3.0%に引き上げられた。

9月4日



女性支援法を生かし、 必要な人に支援を届けよ！



増茂 しのぶ 議員

誰一人取り残さない支援を

問 法の趣旨を全庁で共有し、適切な支援につなぐ体制を整えてはいかがか。

区長 研修等で職員の資質向上を図り、人権尊重のもと、困難を抱える女性等への連携した支援体制の充実に努める。

問 民間団体と協働し、行政につなぐりにくい若年女性などと接点をつくり、支援につなげてはいかがか。

区長 相談事業の活用により、相談しやすい環境づくりに努め、民間団体や

NPO法人との連携を含めた効果的な支援策を調査研究していく。

女性相談支援員へのサポート体制

問 困難なケースについて専門的な助言や指導を受けられるなど、相談業務を行う職員を支える仕組みが必要だと考えるが、見解を伺う。

区長 複数の職員による情報共有や組織的対応で特定の職員への負担の集中を抑制し、スーパービジョン(*4)を含めたサポート体制の充実を検討していく。



区政100年に向かって、 区民と共に創り上げる目黒の未来



自由民主党目黒区議団・区民の会 鈴木 まさし 議員

目黒区観光ビジョンの改定

問 観光は地域の課題解決につながる。前回の改定から11年余りが経過した観光ビジョンの見直しについて伺う。

区長 社会情勢や観光需要の変化、産業分野との連携や都の計画改定の動向も踏まえ、適切な時期に改定に着手していく。

デバイス活用で未来型の健康づくり

問 スマホの次のインフラになると期待されるウェアラブルデバイス(*5)を活用した健康づくりを推進せよ。

区長 都の動向や他自治体の取り組み事例、検討課題を踏まえながら、ウェアラブルデバイスを活用した取り組みについて検討を進める。

区内の創業支援で活気あるまちを創出

問 実践めぐろ創業塾(*6)修了者の創業を伴走型で支援できないか。

区長 創業者の課題やニーズの把握に努め、区内定着や事業継続・成長につながる支援の充実・強化に取り組む。
教員が児童・生徒と向き合う時間の確保

問 教員の負担軽減となる用務等の外部委託で得た知見と今後の方針を伺う。
教育長 良好な教育環境と安定的な学校運営を維持し、教職員が児童・生徒と向き合う時間確保につながる取り組みとして委託校を段階的に拡大する。

問 並行して、次世代校務DX(*7)の環境整備を推進してはいかがか。

教育長 次世代校務DX環境の整備を推進し、活用支援の充実にも取り組む。



用語解説

*4 スーパービジョン

支援や相談業務に携わる職員が、より適切な支援を行えるよう、経験豊富な専門家から助言や指導を受ける仕組み。

*5 ウェアラブルデバイス

腕時計や眼鏡、指輪などの形で身体に装着して使用する小型のコンピューター端末で、健康管理・運動管理・安全管理などに活用される。例えばスマートウォッチは、歩数や心拍数の測定等の機能を備えている。

*6 実践めぐろ創業塾(区の事業)

講義やワークショップにより創業に必要な知識を習得できる講座。

*7 次世代校務DX

クラウド上での校務実施を前提とし、ロケーションフリー(場所を問わず、どこからでも校務を実施できる)やデータ利活用・データ連携を通じて、「学校における働き方改革」、「教育活動の高度化」、「教育現場のレジリエンス確保(災害等発生時でもスムーズな学校再開や安全・安心な教育活動を継続する)」の実現に資する新しい校務の在り方。



学童・ランランひろばの安定運営を！ 学校の火災対策を！



めぐろの未来をつくる会
(無所属・国民・維新) 上田 あや 議員

学童保育クラブ

問 さらなる専用室の確保を求める。

区長 施設の状況を踏まえ専用室確保を含む受け入れ環境改善を検討する。

問 体調不良時、児童が保健室のベッドを利用できるよう学校の協力を求めてはいかがか。

教育長 児童の安全安心の確保が図られるよう具体的な運用方法を検討する。

ランランひろば職員

問 学童職員との処遇差により人材が流出する懸念があるが、区の見解を伺う。

区長 国や都の補助制度に違いがあるため、課題解決の検討を要望した。

学校火災避難用の救助袋

問 教職員向けの使用訓練を求める。
教育長 教職員が使用方法を正しく理解し、緊急時に活用できるよう実効性のある取り組みを検討していく。

問 区立全小・中学校の救助袋について、管理状況の確認と改善を求める。

教育長 各施設の状況に応じた適切な設置・維持管理の徹底に取り組む。



未来を見据えた改革で 「希望が広がる目黒」へ



公明党目黒区議団 川原 のぶあき 議員

区有施設の再編は未来志向で実行を

問 図書館は、8館体制を前提とせず、必要な図書館機能を持続可能にするため、再編・機能転換に取り組むべき。再編等により生み出された空間や財源を子ども・絵本図書館への機能転換や図書購入費の拡充等、未来への投資に振り向けるべきではないか。

区長 図書館は知識・情報へのアクセスを保障する学びの拠点である。区民ニーズや利用実態、地域特性、公共施設を取り巻く環境の変化を踏まえ、現在の8館体制の維持を前提とせず、将

来にわたり必要な図書館サービスを持続可能に提供できるあり方を総合的に検討していく。

「移動したい」をかなえる公共交通政策

問 「移動したい」をかなえるため、目黒版ライドシェア等、目黒区独自の移動サービスを創設すべきではないか。

区長 都市部でのライドシェアは多様な形態があるため、他自治体の事例や実施状況の把握に努める。地域ニーズとの適合性や費用対効果を検証し、導入可能か検討していく。



目黒区基本計画の進捗及び 今後の方向性について



フォーラム目黒
(立憲民主・無所属の会) 橋本 しょうへい 議員

問 目黒区の最上位の計画である基本計画の策定から5年目を迎え、今年度末で折り返しとなる。区政評価指標の修正は考えているか。また、区政評価指標は区民の実感を目標数値としている。区政への理解を深めるため「わからない」と回答した層へのアプローチが必要と考えるが、区の見解を伺う。

区長 区民満足度調査結果は、現状や課題把握の重要な材料であるが、それをもって指標の変更はせず、結果を後半5年間の取り組みに生かしていく。また、「わからない」の回答を減らす

ため、区政への理解促進に向け、引き続き情報発信や広報の充実に努める。

問 成果指標の修正は考えているか。
区長 達成状況のみを理由として、直ちに指標や目標値を見直す考えはない。

問 目標を意識し、進捗を確認しながら事業を進めることは職員の育成や計画の着実な推進にも資すると思うが、区の見解を伺う。
区長 全職員が計画の進捗や成果を確認し、その結果を改善につなげる視点を身に付けられるよう取り組む。

請願・陳情の受け付け

請願・陳情とは、区政に関することなどを、区議会に直接要望できる制度です。請願には区議会議員の紹介が必要です。目黒区議会では、議員の紹介のない陳情も請願と同様に扱います。

▶受け付け方法

令和8年第4回定例会での審査を希望するかたは、締め切り日までに区議会事務局へ請願・陳情書を持参してください。郵送によるものは原則審査を行いません。

▶令和8年第4回定例会への請願・陳情締め切り日：

11月11日(水) 正午

※締め切り日以降に提出されたものは、次の定例会で審査します。

